

一步踏み出す経営者のための経営塾

経営者へ

何ごともある程度の知識があって行うのと、経験則だけ積み上げて行うのでは、効率性も成果も異なります。

実務においては、ルーチンワーク以外はほとんど応用問題です。応用問題は基礎知識を活用して対処します。応用問題を積み重ねても、次の応用問題には対処できません。

あなたの会社が目的も、目標も、戦略もなく、とりあえず行動しているとしたら、大変なエネルギーのロスをしていることになり、しかも成果はあがりません。それは緊急の問題ばかり対応し、疲労困憊している姿で、まるでもぐらたたきです。経営者とは、経営をする人です。それでは経営とは何でしょうか。経営の業を知らずにうまくいっている会社も、ときにはあります。しかしそれは長続きしません。どんな負け犬でも、うまくいくときはありますから。

あなたの会社が今後も存続し成長するためには、いつかの時点で、経営知識に裏付けされた論理で経営を行うことに転換しなければなりません。さもなければ、自滅の道を歩むことになります。

本経営塾は経営の初歩的な知識を、自社の状況を見据えて学習していただきます。そしてそれを基に自社の中期経営計画をつくります。その後は実務を遂行しながら、次々と経営知識を修得し、またその知識を経営に活かすという正しい経営の入門となります。「会社はうまくいっているし、私には経営知識がある」と思っている人はもの足りないでしょう。また会社の実態に則しての学習ですので、会社の実権を持っていない人は別の機会を探して下さい。

開塾の間は商工会議所の職員がマンツーマンで支援します。勿論塾の終了後であっても、商工会議所はあなたの味方です。